

4回 昭和の森 親子田んぼ教室

稲刈りを体験しよう

佐藤一枝(千葉市)

日時：2013年 9月14日(土) 9:30~12:00

参加者：10家族 大人14名 子ども13名 計27名

稲刈り指導：昭和の森ビオトープの会 西川章さん

担当指導員：山田益弘、山下美佐子、川北紀子、小林義和、佐藤一枝、花島伸美

台風16号の心配も無く稲刈り日和で暑くなりそう。自分たちで植えた稲を刈ります。

稲は良く実ってるかな？ 刈るのが楽しみ、なんて話しながら谷津田に到着。

・・・実りの風景を眺めていて・・・谷津田っていいなあ・・・と一言・・・私もうれしくなりました。

早速 西川さんより、稲の刈り方(稲の持ち方、鎌の使い方)、鎌は危険なので十分注意すること。特に転ばないようにする。稲は10株を1束にし、紐を2回まわしてぎゅっと結ぶ。刈り終わったら“おだ(はざ)に架ける”の指導を受けて、スタートです。

子どもたちは、始めは恐々と刈っていましたが、そのうち慣れてきて、ザクッ・ザクッと気持ちよい音が響くようになりました。手つきもなかなかです。刈った稲を田んぼは泥濘で置けないので、受けとって畦まで運ぶ人、それを束ねる人が必要です。お母さんが受け取って、お父さんが束ねたりしていました。でもお父さんもお母さんも刈りたいので、ちょっと交代してあげました。

稲が寝ているし、泥濘で足を抜くのに大変です。束ねるのがこれまた又一苦勞です。家族のチームプレイで、泥んこになりながら、頑張っています。ちょっと休憩し、もうひと頑張りしました。子ども達も束ねるようになり持ったら、“重い！”と言いながらうれしそう。一束の重みを実感！最後はおだ架けです。大汗を流しながら、エイッ、エイッと架けていきました。・・・

・・・終わった！！・・・

ずっしりと架かった稲束(125束)、その穂波は生きている様に黄金色に輝いています。

みんなの頑張りの結晶です。 農家の人の大変さがわかった。大変だけど、楽しかった。又参加したいと皆さんの感想です。今年は田んぼを拡張したので、皆さんにもこのお米を食べて頂けませう。引換券を渡し玄米を受け取りに来てもらうことにしました。

<感想> ○はじめは刈れなかったが、こつをつかむと気持ちよくなって、楽しかった。

○ひざ近くまで泥にはまってびっくりした。○稲刈りの大変さを親子で体験させて頂いた。

○稲刈りに憧れていたもので、とても楽しい貴重な体験、ありがとうございました。

○稲刈りができ楽しかった。○生き物がたくさんいた。

